

わたしは、ことしの三月が  
ら、テントウムツをたくさん  
かっ、ています。きんじょの草  
むらやテールゲルゼーのほとり  
など、をさんぽして、いるとき、に  
三十びきくらいのナナホツテ  
ントウムツとナミテントウム  
ツを見つけてました。

テントウムツは、まい日ア  
ブラムツをたくさんたべます。

わたしは、きんじょのさくら  
の木にアブラムツがたくさん  
いるので、そこでアブラムツ  
をとっ、てきて、テントウムツ

にあげます。テントウムシは  
アブラムシをおいしそうにム  
シヤムシヤたべます。

テントウムシをかいはじめ  
こしばらくすると、こうびを  
しているオスとメスがいまし  
た。すうじつゴ、虫カゴのな

かにテントウムシのたまごを  
見つけました。わたしは、と  
こもうれしくこ、テントウム  
シのたまごをそら、とベツの  
虫カゴに入れました。テント  
ウムシがまちがえてたまごを  
たべてしまいうことがあ

です。

テントウムシのたまごは、

二日くらいたったとくろくなっ

てきこいっせいに二十ぴき

くらいにくろい小さなよう虫

が生まれました。よう虫はま

だテントウムシのすがたでは

ありません。アリのはん分く

らい、一ミリほどの大きさで

すが、アブラムシをムシヤム

シヤたべて、どんどん大きく

なっこきます。よう虫は、三

かいもだっぴして大きくなり、

せなかに黄色いもようも出て

きました。それがも、まだテ  
ントウムツのよながたちで  
はありません。

よう虫は、たまごから生ま  
れてニし<sup>や</sup>う間くらゐすぎ

と、一センチいじよの大き  
さにせいちようしこきました。

それまでうごきまわっ  
ていた

よう虫がき<sup>ゆ</sup>うにうご  
がなく

なり、せながをまるめ  
こかた

まりました。さなぎに  
なるじ

ん<sup>や</sup>びをしこいた  
のです。

な<sup>や</sup>ぎは、くると黄色  
のまだら

もようご、まる  
いかたちをし

ています。

よう虫がさなぎになよ。こが

ら六日た。たあさ、さなぎは

いわいわうまきだし、ながい

かたちになり、あのテントウ

ムツのあたまがさなぎから出

てきました。さなぎから出て

きたのはテントウムツ、なん

と、とてもきれいな黄色でし

た。もようもついでいません。

生まれたこの黄色いテントウ

ムツは、はねをのばして、か

わがしていました。五分くら

いたつと、テントウムツのせ

中にくるいもつのでんてんが  
出てきました。さらに十分く  
らいたつとはねの色が黄色が  
らオレンジ色にかわってさま  
した。もう、ほとんどおやの  
テントウムシとおなじですがた  
になりました。

いまでも、わたしががて  
いるテントウムシたちはまい  
日のようにたまごを生みつづ  
けています。おうちには、テ  
ントウムシのたまご、小さな  
よう虫、大きなよう虫、そし  
てまだわがいたテントウムシが

たくさんいます。

まい日テントウムシをかんとつするのは、とてもたのしいです。テントウムシは、だれにおしえられたわけでもないので、たまたま出てくる。とすぐにアブラムシをたべ、

だっぴして、さなぎになつて、テントウムシのすがたになります。どうしておややせんせいに、もおしえられこいなのかに、そんなことができるのかと、とてもふしぎだし、オギーいなくなつておもいます。

どうしてテントウムシには  
 はねがあつてとべるのかな。  
 どうしてテントウムシはいち  
 どにたまごをたくさん生める  
 のかな。どうしてテントウム  
 シはあんなにきもちわるいア  
 ブラムシをおいしそうにたべ

るのかな。テントウムシをか  
 つてみると、いろんなことを  
 かんがえるようになりました。

これからも、テントウムシ  
 のかんさつをつづけたいです。  
 そして、テントウムシについ  
 て、いろいろしらべていきま

らせます。